



9月定例会始まりました (9/29まで)

《日本共産党議員団 一般質問》

勝川志保子 9/1(月)

午後3番目 15時以降

(時間がはつきり

わかりません)

から中継視聴可

当日はこちら



①市民が納得できる部活動改革に

●「中学校の部活動は教育ではない」「でいいのかわかりません」

●国の予算措置がないうちに地域に振ればボランティア頼みか保護者負担増に

●教師が部活動指導をやりたいたくは自己責任で二重契約 働き方改革には逆行

●夜間の活動は子どもにも家庭にも負担が

教師を増やし残業代などもしっかり払う。働き方に余裕を持たせて代休や部活分の空き時間を保障する。義務教育の文化・スポーツを教育から切り離すのではなく、国の責任で教育的専門性を持った専任のスポーツ文化指導員を配置する。ヨーロッパで当たり前にやられていることを目指すしかないのではと私は思います。

②市民活動を後押しできる公共の役割の発揮を

●公共施設をもっと市民が活用しやすく

●市は市民活動の後押しを公共の役割がどんどん投げ捨てられ溶けていく新自由主義路線。

本来政治は富めるものから集めた税金を国民の福祉の増進のために再配分するのが役割。国民に負担させた税金を一部の企業や富裕層の利益に使うという逆のことが行なわれています。またにあふれる民間活力・受益者負担・自己責任などの言葉にだまされたくありません。

大井正 9/12(火)

午後3番目 15時以降

(同様にはつきり

わかりません)

から中継視聴可



①教育・子育て・福祉政策を充実させて人口減少を食い止める施策
②掛川市が安心・安全・快適な「選ばれるまち」となるための環境及び都市基盤整備
③人口減少を食い止め、流入者を増やすシティプロモーションや行財政のあり方

関東大震災から100年

必ず起こる大地震。止めることはできません。

地震。止めることはできません。

教訓を大切に被害を最小限に、命を守るための備えをする。知

恵を絞り、対策を立てたいです。

地区ごとの防災訓練がいろいろな場所と人をうまく利用して、災害時の様々な要望を拾えるとい

いなと思えました。



地区の防災倉庫

ミソハギ



中小商工業全国交流研究 集会上にオンライン参加

民商の紹介でオンライン参加。掛川市にも中小企業振興条例がありますが、本気で小規模事業者、家族経営者などを守る事を考えていないと思います。

今回の9月定例会で補正予算が通った子育て世帯への商品券は、商工会議所・商工会の会員のところしか使えません。担当は「対象になりたいなら会員になればよい」と説明しました。公平ではありません。

元気なお店や農家や事業所などがあって、地域のためにがんばれる人がいる全国のまちの報告から学んでいます。

関東大震災時には「朝鮮人が放火している」「井戸に毒を投じている」などの流言飛語が広まり、軍・警察・自警団等により朝鮮人や中国人、さらに社会主義者や朝鮮人と間違われた日本人が多数殺害されました。

先日、四国から来た菓の行商団を朝鮮人と決めつけ、自警団が子どもや妊婦も含め9名を虐殺した「福田村事件」をモデルにした映画を観ました。

日本に、今ヘイトスピーチ、ヘイトクライムが広がっていることを恐ろしいと思います。

大きい流れに従うのではなく自分で判断できる力が必要です。憎しみや差別が戦争につながります。当たり前の人権感覚や平和が大切だと改めて思いました。